

## 特別委員会の動き

### 伊予市庁舎等建設特別委員会

○A分科会（総合保健福祉センター・給食センター・下水道整備事業）

会長 水田 恒二  
副会長 大西 誠  
書記 日野 猛 仁

高井 洋一

佐川 秋夫

谷本 勝俊

武智 実

田中 弘

平岡 一夫

高橋 佑弘

A分科会では、右記（）

内3項目に絞って調査、討議を重ねてきた。

第1回目の分科会は、昨年12月21日に開催し、右記3項目の事業を各担当課より、現状説明を受けた。

第2回目を1月11日に開催した。主な内容は

①ボランティアセンターとして、社会福祉協議会

総務部門のみの入居予定だが、事業部分を含めて集約化できないか。

②既存の児童館、あすなろぐと3階に新設予定の児童センター重複問題

③歯科保健センターと中山歯科診療所との関係

④他に、歩行訓練用プールの設置、トレーニング室の設備内容等についても意見があった。

第3回目を1月24日に開催した。

①児童館、あすなろぐについて、現施設の今後の利用計画が明らかになっていない。平成14年に補助金を受け改修しているが、重複を解消した場合、返還問題が浮上するのではないか。複数の施設を運営する際、維持管理費は、財政負担増となるのではないか。現在の利用者71%が郡中地区（米湊地区約35%）で、現状の施設機能を残して、新児童センターを設置しての利用者拡大の根拠が乏しい。

②社会福祉協議会については、起債対象にならない可能性もあるとのこと。

第4回目を2月1日に開催し、主に総合保健福祉センター建設に関して、建物そのものに対しては、2つの点で意見集約した。

①現児童館、あすなろぐは、旧あさひ保育所跡地に放課後児童クラブが新設されたことで、2階部分も使用できるようにした。従来の2倍の広い面積が確保されている。

また平成14年に約400万円の補助金を投じて改修しており、まだ使用ができる。現在の利用状況や地域性を考えても、3階は児童センターではなく、他施設（図書館など）を入居させるか、2階建てとすべきである。

社会福祉協議会は、総務部門のみをセンター内に移転するのは非効率であり、事業所のある旧食糧事務所等、1カ所に集約すべきである。

### ○B分科会（本庁舎・図書館・文化ホール）

会長 田中 裕昭  
副会長 岡田 博助  
書記 正岡 千博

北橋 豊作

門田 裕一

武智 邦典

青野 光

日野 健

若松 孝行

西岡 孝知

第1回目の分科会を、12月20日に開催した。

分科会では、担当課からの説明後、本庁舎の建設位置の再検討はできないか、本庁舎と図書館の併設等について検討した。

第2回目を1月17日に開催し、建設財源等について検討した。

1月26日に西予市に建設中の庁舎の視察を行い、建設の必要性及び検討経緯、庁舎建設の基本的な考え方、基本指標、建設計画の説明を受け、今後の本市での取組に大いに参考になるものであった。

### 伊予市議会改革

#### 特別委員会を設置

平成23年3月定例会において、議員発議により、議長を除く20人の議員で構成する議会改革特別委員会を設置いたしました。当委員会での調査項目は、次の5点です。

- ①議員定数の見直しについて
  - ②議会運営のあり方について
  - ③政務調査費の用途基準の明確化について
  - ④議員のモラルについて
  - ⑤その他議会改革に関する事項について
- これから調査研究を行い、住民に開かれた議会をめざして、議会改革を推進してまいります。

正副委員長は、次のとおり互選されました。

委員長 田中 裕昭  
副委員長 佐川 秋夫